

(アクティビティ名)

## ZOOM

(簡単な内容等：こんなことができるよ)

- ・ 身体接触なしにコミュニケーションがたくさんとれる。  
(初期の集団でもOK)

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク      ウォームアップ      チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学生以上

カードの枚数 (31枚)

30分程度

(準備物)

ZOOMのカード

(手順)

- 1 裏面を上を広げてあるZOOMのカードを取る。  
(一人1枚ずつ：人に見えないように)
- 2 人に絵を見せないで言葉だけで自分の絵を説明する。
- 3 挨拶をした人とだけ話ができる。
- 4 最後に並んで (絵の順番通り並んでいるか) 答え合わせをする。

(ふりかえり or ワンポイント)

- ・ お互いの情報を交換し合う事で、連帯感のようなものが生まれてよかった。

(アクティビティ名)

## 魔法の言葉

(簡単な内容等：こんなことができるよ)

- ・ 伝え合う楽しさ。
- ・ 相手に伝えるために大切なことって何？

(タイプ)

アイスブレイク      ウォームアップ      チョイ恥ずかし系

(事前に必要な体験)

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

小学校低学年～

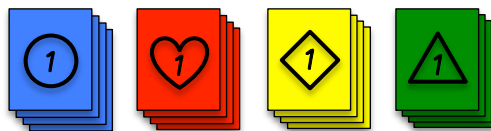
(人数)

7・8人～10人ぐらい

(所要時間)

20分

(準備物)

カード (1～4、色4種、形4種) →例  
ストップウォッチ

(手順)

- 1 カードの色 (形・番号) でグループ分け。
- 2 一列に並ぶ。(間隔を開けて…声が聞こえない程度)
- 3 ファシリテーターの「ちちんぷいぷい…」の呪文とともに、最初の人以外は眠りにつく。
- 4 最初の人、ファシリテーターから出された魔法の言葉 (=カードの色・形・番号) を覚えて、次の人に伝える。
- 5 次の人は、伝えてきた人に肩を叩かれたら目を覚まして魔法の言葉 (=カードの色・形・番号) を聞く。分からなかったら「えっ？」と聞き返す。
- 6 最後の人まで伝わったらファシリテーターに戻して、ファシリテーターから魔法を解く呪文を覚えてもらい、逆から回して全員の呪文を解く。
- 7 チャレンジタイム、順番は作戦。

(ふりかえり or ワンポイント)

- ・ 待っている時の気持ちは？
- ・ 言葉がうまく伝わらないときどう思った？ 伝わったときは？
- ・ 伝えるために工夫したことはある？

(アクティビティ名)

**魔法の言葉**

(簡単な内容等：こんなことができるよ)

- ・ みんなで言葉を伝えよう。
- ・ 正しく言葉を伝えよう。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク   ウォームアップ   チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学校低学年

1クラス

30分

(準備物)

カード、伝える言葉

(手順)

- 1 グループ（1グループ6～12人）に分ける。1列に並ぶ。
- 2 おまじないで全員目をつぶる。
- 3 ファシリテーターが先頭の人に、カード（色、形、数字）伝える言葉を伝える。
- 4 先頭の方は、次の人の肩を叩き、言葉を伝える。分からなかったら「えっ？」と言って聞き返す事ができる。
- 5 同様に次の人に伝える。
- 6 最後の人まで伝わったら、ファシリテーターまで伝えに行き、おまじないの言葉を教えてもらう。
- 7 逆の順序でおまじないの言葉を、肩を叩きながら伝えていく。
- 8 先頭の人まで戻ってきた時間を計測。
- 9 難易度（2枚にする等）を上げてみる。

(ふりかえり or ワンポイント)

- ・ 他の人に聞こえないように伝える。
- ・ 別バージョンで、わざと大きな声で伝えると混乱が起きて、面白いかも。
- ・ 正しく伝えるために何に気がつけた？

(アクティビティ名)

## 魔法の言葉

(簡単な内容等：こんなことができるよ)

・相手の言葉を最後まで聞こうとすることができる。説明することができる。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク   ウォームアップ   チョイ恥ずかし系

コミュニケーション   課題解決系   信頼関係を高める

(対象年齢)

小学生以上

(人数)

7~10人

(所要時間)

3~5分

(準備物)

自分の場所だと感じられるもの (例：座布団、フラフープ? など)

(手順)

- 1 1列に並ぶ。
- 2 「ちちんぷいぷい イエイ！」とファシリテーターが声をかけて、最初の人以外は目を閉じさせる (眠りにつかせる)。
- 3 ファシリテーターは最初の人に、伝えようと思う言葉 (=呪文) を伝える。  
伝えられた最初の方は、次の人の方を叩いて眠りから覚まさせる。肩を叩かれたら、「えっ？」と言って目を開ける。最初の方は伝える言葉を伝える。(聞く人は、どういう言葉か分かるまで「えっ？」と聞き返す。)
- 4 3を最後の人まで繰り返す。
- 5 最後の方は、ファシリテーターに呪文を伝える。ファシリテーターは、それが間違っていたら「えっ？」と聞き返す。合っていたら「治ったよ！」と伝えるように最後の人に言う。
- 6 最後の方は伝えていく。

(ふりかえり or ワンポイント)

- ・ 一人ひとりの間隔が広がったらどうなるんだろう？楽しくなるのだろうと思った。
- ・ 男女だと耳元でしゃべるのは少し抵抗があるのかなと感じた。

(アクティビティ名)

## 魔法の言葉

(簡単な内容等：こんなことができるよ)

- ・ 静かな中に「クスクス^\_^」感。大人でも心をほぐせるよ。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク

ウォームアップ

チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学生以上

8人以上

15分程度

(同数対戦的でもいいし、1グループでも楽しめそう)

(準備物)

伝えるものを示すカード類

(手順)

- 1 グループで1列に並ぶ。(目を閉じて)
- 2 ファシリテーターのところで、先頭に伝える内容のカードを見る。
- 3 肩を叩いて目を開けさせ、周囲に聞こえないように注意しながら伝える。伝えられる側は、分からなければ「えっ？」と聞き返すだけ。
- 4 伝言ゲーム的に伝えていく。

(アクティビティ名)

## 魔法の言葉

(簡単な内容等：こんなことができるよ)

- ・ 簡単な言葉のリレー。待っている感覚が楽しくて、つながっているという実感がもてる。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク

ウォームアップ

チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

(準備物)

小学校低学年～大人

8人(1グループ)

15分

言葉カード

(手順)

言葉(キーワード)カード をリレーする。



トントンで魔法を解く。

分からなければ「えっ？」

最後の人がファシリテーターに返す。

復活の呪文「助かったよ。」を覚えてもらい、逆リレーで魔法を解く。

(ふりかえり or ワンポイント)

- ・ フェイスバリューの応用も可！面白い！！